



平成 29 年 10 月 2 日

本 社 所 在 地 東京都港区赤坂三丁目 7 番 13 号
会 社 名 株式会社アエリア
代表者の役職名 代表取締役社長 小林 祐介
(コード番号：3758)

問 合 せ 先 管理本部長 上野 哲郎
電 話 番 号 03-3587-9574

(URL <http://www.aeria.jp/>)

**株式会社アエリアとコンセンサス・ベイス株式会社
ブロックチェーン技術を利用し発行・流通が可能な
デジタルトレーディングカード『ブロックチェーン・トレカ(仮称)
(ブロックチェーン上で発行・管理するトレーディングカード)』を共同で開発
2017 年 11 月にサービス開始予定**

IT サービス事業とコンテンツ事業を展開する株式会社アエリア（以下「当社」 本社：東京都港区 代表取締役：小林祐介）と、国内で最も古くからブロックチェーン技術の専門企業として事業展開するコンセンサス・ベイス株式会社（以下「コンセンサス・ベイス」 本社：東京都品川区 代表取締役：志茂 博）は、コンセンサス・ベイスが開発を進めていたブロックチェーンのコントラクト（プログラム）をベースに、当社グループが事業展開するオンラインゲームのトレーディングカードをブロックチェーン上のデジタルアセットとして登録・発行・流通することが可能なデジタルトレーディングカード『ブロックチェーン・トレカ(仮称)』を共同開発、2017 年 11 月にサービス開始いたします。

現在、トレーディングカードの国内市場規模は 2011 年の段階で 1,000 億円を突破しており、デジタルトレーディングカードの世界市場規模は約 1,400 億円にも上ります。
デジタルトレーディングカードは利用者同士で対戦を行うだけでなく、希少価値の高いカードの収集など利用者の目的は多岐にわたります。そのため利用者同士のカード交換のニーズが存在します。

しかしながら、現状はトレーディングカードをゲーム運営会社のサーバーで管理しているため、カード保有者が自由にカード交換できないなど以下のような課題があります。

- ①ゲームがサービス終了すると、カードもなくなり、カードの価値がゼロになる
- ②ユーザーはあるカードが合計何枚発行されているかわからない
- ③例えば同じキャラクターのカードであれば、カード一枚一枚に区別がない

そこで、このたび当社とコンセンサス・ベイスが共同開発するデジタルトレーディングカード『ブロックチェーン・トレカ(仮称)』では、トレーディングカードをゲーム運営会社のサーバーでなく、デジタルアセットを改竄がほぼ不可能な状態で記録・流通できるブロックチェーン技術（イーサリアム ERC20）を利用することで、トレーディングカードをデジタルアセットとして一枚単位で登録・発行・流通し、上記課題を解決いたします。

- ①ゲームサービス終了後も、カードはブロックチェーン上に存在し価値が持続する
- ②カードの発行枚数はブロックチェーン上に開示され、発行枚数を管理することができる
- ③カードの一枚一枚にシリアル番号が付与され、限定カードの発行ができる

当社はグループのオンラインゲーム開発・運営ノウハウを活かしトレーディングカードの企画・開発・販売・運営を担当、コンセンサス・ベイスは専門企業として培った技術力をベースにブロックチェーン関連の設計・開発・運用を担当します。

2017年11月より以下トレーディングカードを『ブロックチェーン・トレカ(仮称)』でリリースする予定です。

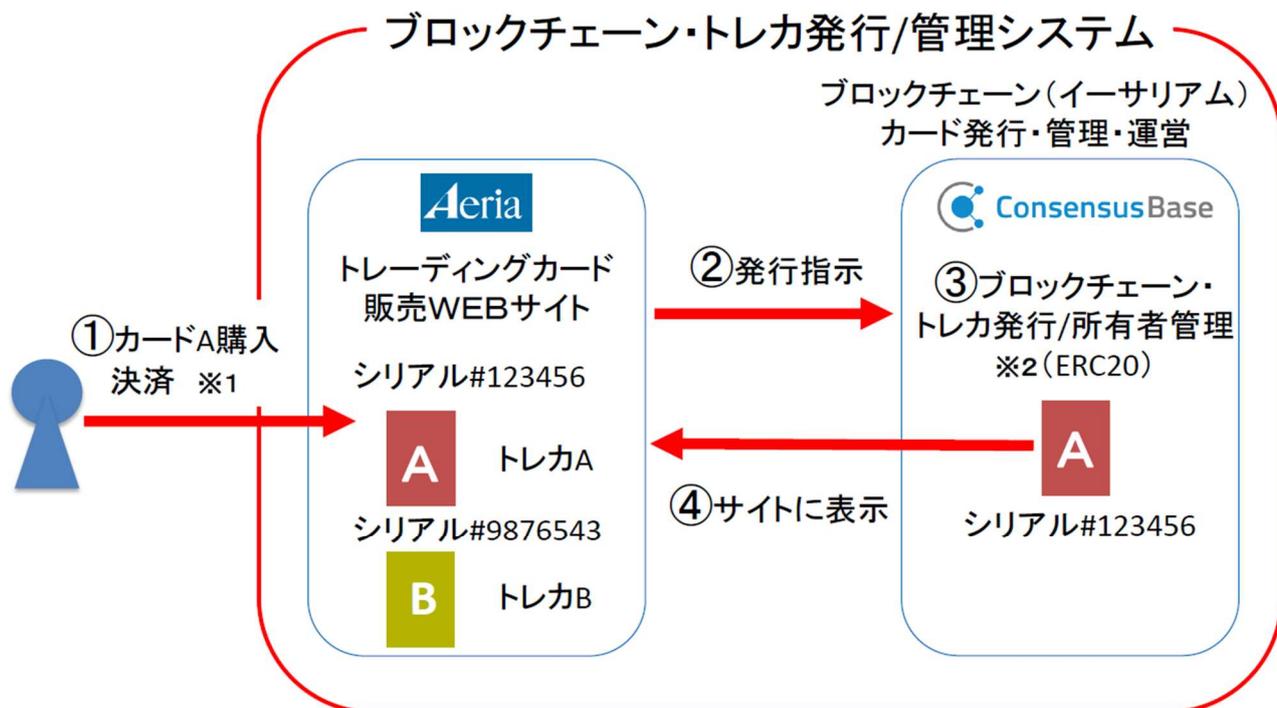
- DYNAMIC CORD
- その他当社グループ会社のキャラクターなど

また、『ブロックチェーン・トレカ(仮称)』をデジタルトレーディングカードのプラットフォームとして普及させるため、さまざまなトレーディングカードを『ブロックチェーン・トレカ(仮称)』でリリースできるよう多方面に働きかけていきます。

さらに、当社とコンセンサス・ベースの協業範囲を拡大し、ブロックチェーンを利用したオンラインゲーム内通貨を共同開発・リリースすることで、『ブロックチェーン・トレカ(仮称)』のデジタルトレーディングカードの流通を促進し、かつオンラインゲームの共通通貨として利用されるようなゲーム通貨のICOも視野に入れ事業展開していきます。

<サービス概要>

ブロックチェーン・トレカ(仮称)概要図



※1 : 決済方法はビットコイン、イーサリアム、クレジットカードを予定

※2 : カードには、シリアル番号を付与し、ブロックチェーン上で管理・運営

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社アエリア

経営企画室 瀧浪和弥

Email: pr@aeria.jp